

(様式3)

事業所名 やすらぎホーム 希望の家

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 2 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	46	認知症の進行と高齢化により、日々の役割を忘れてしまう利用者が多くなり、継続するのが困難になって来ている。また、まったく出来なくなった利用者も徐々に増えて来た。	利用者個々の能力に合った役割を持たせ、毎日継続的に行う事が出来る。	全員で行って貰っていた役割を細分化し、個々の利用者によって分担を分けてみる。出来ない部分に関して、職員が付き添いながら継続的に出来る様に支援する。(まったく出来ない利用者に対しても職員と一緒にやってみる。)	12ヶ月
2	47	高齢による脚力の低下が著しく、室内はいいが、室外だと、途端に歩けなくなるので、外出を億劫がり、出掛ける機会が少なくなっている。	天気の良い日やイベントの際は出来るだけ外出したり、ドライブ等による気分転換を随時行う。また、中庭での日光浴や茶話会などを出来るだけ多く行う。	全員を連れ出す事は非常に厳しくなっていますが、大きなイベント等には、ボランティア等を依頼したり家族の協力を仰ぎ行う。家周囲での散歩や日光浴を多くしていく。少人数での外出を心掛け、スタッフの負担を少なくする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。